



逸品  
図鑑

「布小物」

m\*handwork

岩村 真喜さん

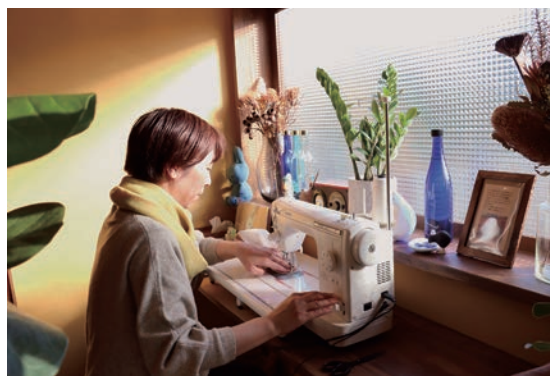
【世界に一つだけ】自分だけのお気に入りの小物たち。

独学で洋裁を始め、はぎれを使ってバッグや巾着を作り販売を始めたのは9年前。バッグだけでなくスマホポーチや眼鏡ケースなど多様なハンドメイド品を制作する岩村真喜さん。ハンドメイド通販『minne』への出品や町内の『mimosa cafe』、宿毛市の『cafe eatriel』で店頭販売を行っています。

ハンドメイド通販ではお弁当袋や移動ポケットなど、岩村さんお気に入りの生地で作られた色彩鮮やかでかわいい作品が多く販売され、子どもだけでなく保護者たちもその作品のかわいさに魅了されています。オーダーメイドの作品は『mimosa cafe』で注文を受けており、カフェに置かれた100種類以上の布見本から生地を選び、サイズや形などのご要望に答えながら、オススメの組み合わせや用途に合わせたアドバイスなど丁寧なヒアリングを行い、お客さまの描く理想の形を表現していきます。また、『mimosa cafe』一角に作られた陽射しの心地よいアトリエでは12月から定期的にワークショップが開かれ、にぎやかな雰囲気の中、よりたくさんの生地からお気に入りの一枚が選べるようになりました。

「最近では北欧風の柄が圧倒的に人気です。季節感を大切にしているお客さまたちからはコーデウイロを使ったご注文も多く寄せられます」と話す岩村さん。1カ月に40件近くのオーダーを受け、いくつもの作品を同時進行で作りながらも、ミシンを使っている時が癒しの時間と微笑みます。自分の好きな柄やデザインで理想の形を表現してくれる岩村さんの作品にはリピーターも多く、使い心地や耐久性などを考えて一つ一つ丁寧に作り上げられた作品には、長く使ってもらいたいという岩村さんの思いが込められています。

作品を通じてたくさんの人と出会い、着々と夢への実現に向け歩みを進めている岩村さん。「自分の作った作品だけじゃなく、生地やお気に入りの雑貨を集めてお店を開きたい。ミシンをかけながら店番をして、自分の縫い姿やどんな風に作品が出来上がっていくのかを見てほしい」と次なるステップへ向け歩みを進めています。



▲カフェの一角に作られた専用のアトリエ。ミシンが奏でる心地良いリズムが店内に響く



▲今からの時期は体操袋やシューズ入れなど、入園・入学グッズの注文が増える



公式 Instagram  
m\*handwork's  
GALLERY

